

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

中学校

国語
二

令和3年3月改訂

はじめに

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力（基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等）を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校では、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成しました。これは、福岡県学校教育振興プラン（平成27年12月）において、「小学校中学年までの児童に対し、読解力と基礎的な計算能力の育成を中心とした取組等の強化を図る」とされていることに対応しています。

この度、中学校においては令和3年度から学習指導要領（平成29年告示）が全面実施となることを受けて、改訂を行いました。

本教材集は、大問（主に基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を育成する教材）と小問（基礎基本の定着を図る教材）で構成しています。

大問については、指導計画に位置付けた次のような活用が考えられます。

- 授業の主教材として活用する。
- 適用問題や発展問題として活用する。
- 習熟度別指導等の問題として活用する。

小問については、朝の活動や家庭学習等での次のような活用が考えられます。

- 朝の10分程度の時間で小テストやプレテストとして繰り返し活用する。
- 授業（教科書の内容）と関連付け、家庭学習課題として活用する。
- 習熟度別指導等の問題として活用する。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題として活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことをお願いします。

令和3年3月

福岡県教育委員会

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

目次

1	一単位時間程度で活用する教材（大問）	
1	相手の立場や気持ちに配慮した文章を書く。 （書くこと）	1
2	相手の立場に応じた表現を理解する。 （読むこと）	3
3	目的や場面に応じて、効果的に話し合う。 （話すこと・聞くこと）	5
4	表現の仕方について自分の考えをまとめる。 （読むこと）	7
<hr/>		
2	10分程度の短い時間で活用する教材（小問）	
1	目的に応じて自分の考えをまとめる。 （書くこと）	13
2	構成や展開について、自分の考えをもつ。 （読むこと）	14
<hr/>		
大問 1～4 の出題の趣旨、正答について 9～12		
<hr/>		
3	目的に沿って話し合う。 （話すこと・聞くこと）	15
4	正確に伝えるために適切な言葉を選んで話す。 （話すこと・聞くこと）	16
5	表現の仕方について自分の考えをまとめる。 （読むこと）	17
6	表現の特徴について自分の考えを説明する。 （書くこと）	18
7	目的や必要に応じて文章をまとめる。 （読むこと）	19
8	異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめる。 （話すこと・聞くこと）	20
<hr/>		
小問 1～8 の正答について 21～22		

第二学年【めあて】相手の立場や気持ちに配慮した文章を書く。

1 次の [] 中の文章は、田中さとし君が、前田先生にあてて書いた手紙の下書きの一部です。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、○番号は、段落を示します。

拝啓

① 新緑の美しい季節となりました。前田先生には、いかがお過ごしでしょうか。

② 突然のお手紙にて失礼します。私は西山町立西山中学校生徒会会長の田中さとしと申します。

③ さて、私たちは毎年、秋に文化祭を開催しています。

④ 今年の企画を話し合っているときに、私たち中学生が私たちの町、西山町のために何かできないか、ということが大きな話題となりました。私たちは、総合的な学習の時間で、西山町の文化遺産を調べたり、伝統文化行事の由来を調べて体験したりして地域を大切にする学習をしています。しかし、生徒会でアンケート調査をしたところ、地域の行事に参加している生徒が少なく、地域の人や町の役に立つことをしている生徒も少ないことが分かりました。このことをなんとかしたいと話し合いました。その結果、「地域との交流を深めよう」というテーマで文化祭を開催することにしました。

⑤ 私はい度、両親と一緒に東陽市で先生のお話を聞いたことがあります。そのとき、人の役に立つことはいいことだなと感じました。だから、一人でも多くの人に先生のお話を聞いてもらいたい、地域のためになる活動を生徒会として行いたいと考えました。生徒会役員のみならず、先生のお話をうかがいたいと熱望

() 組 () 番 名前 ()

いたしております。急なお願いで申し訳ございませんが、先生には [ア] という演題で、お話をうかがいたいと考えています。ぜひよろしくお願い申し上げます。

⑥ 講演の日時等は下記の通りです。よろしければ、ご都合のほどを五月一〇日までに同封の葉書にてお知らせいただけたいでしょうか。

⑦ 最後になりましたが、変わりやすい気候ですので、風邪などひかれませぬよう、お体を大切になさってください。

敬具

問1 文章の②段落には、自己紹介の文があります。なぜ、その文があるのか、その理由を書きなさい。

問2 文章中の「お父さん」は敬語の使い方としてふさわしくありません。ふさわしくない理由を書きなさい。

問3 文章中の「ぜひ」の部分は「なにとぞ」と書き換えた方がよいという意見をもらって、さとし君は書き換えることにしました。書き換えた理由を、次の「 」内の説明を読み、必要な部分を引用して、五十文字以上、七十文字以内で書きなさい。

ぜひ【副詞】

是非が非でも、つまり良くも悪くても必ず、の気持ち。後に依頼・希望・願望などの表現を伴う。
なにとぞ【副詞】

意味は「どうぞ」に近いが、相手自身の状態に対する丁寧な希望として用いられることが多い。
《基礎日本語辞典》(森田良行著・角川学芸出版発行)より。》

第二学年【めあて】相手の立場にに応じた表現を理解する。

2 A市に住む哲也君は、B市に住む正晴君を誘って野球観戦に行きたいと思い、「お誘いの手紙」を送りました。

正晴君へ

こんにちは。小学校四年生の時にあったきりですね。中学校生活は楽しんでますか。僕は野球部に入り、毎日、素振りとランニングをしています。

さて、父から正晴君も野球をしていると聞いています。そこで、今度、一緒に野球観戦に行きませんか。実は、来月の第二土曜日に、A市で行われる野球の観戦チケットを、父が二枚もらってきました。父が行けないということなので、「正晴君と行きたい」と父に言ったら、「誘ってみてはどうか」ということだったので、手紙を書いていきます。

正晴君の都合はどうですか。正晴君は初めてA市に来ることになるので、参考までに、いくつか知らせておきます。

正晴君のいるB市のB駅からA市に来るためには、電車と高速バスがあります。電車は特急電車が便利です。特急電車はB市からA市まで、六十分かかります。高速バスはA駅までは八十分かかりますが、野球場近くのTバスターミナルまでは七十分です。

野球開始時刻は十四時三十分なので、もし来るとすれば、十四時に野球場の第一ゲートで待ち合わせしましょう。そのために、特急電車と高速バスの出発時刻を書いておきます。

特急電車 B駅出発時刻 十一時〇〇分 十一時三十分

十二時〇〇分 十二時三十分

高速バス B駅出発時刻 十一時二十分 十一時四十分

十二時〇〇分 十二時三十分

十二時四十分 十三時〇〇分

運賃は特急電車が片道千六百元、高速バスが千円です。

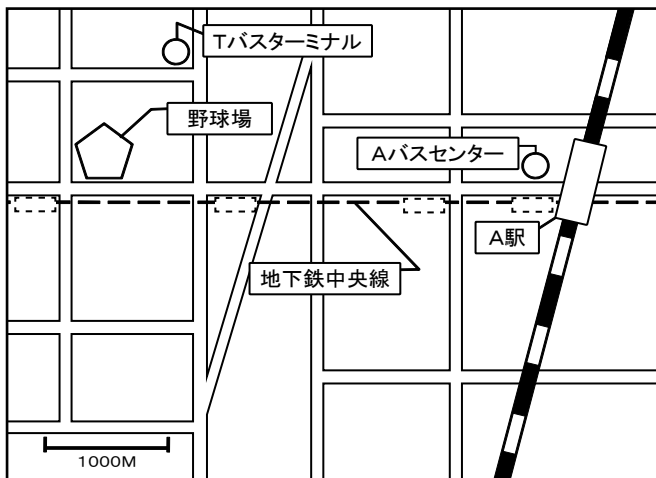
(組) (番号) (名前)

もし、来ることができようだったら、連絡してください。

哲也より

問1 哲也君は手紙を送った後、初めてA市に来る正晴君に伝えておかなければならないことがあったと気づき、左の地図を送ろうとしました。この地図を送ろうとした理由を書きなさい。

【A市の地図】



問2 正晴君は、せっかくの誘いですので、野球観戦に行こうと決心しました。そこで、正晴君は、次のような手紙を書きました。

第二学年【めあて】 目的や場面に感じて、効果的に話し合う。

() 組 () 番 名前 ()

③ K中学校の福田さんの学級では、K中学校のよさを小学生に紹介するためのプレゼンテーションをつくることになりました。次の、福田さんのいるA班が作った「プレゼンテーションの構成(案)」と、それを改善するためにやっている「A班の話合いの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈プレゼンテーションの構成(案)〉

[プレゼンテーションの構成]		
単元名：「K中のよさを1分間で小学生に紹介しよう」		
(A) 班のテーマ：行事を紹介して、学校の楽しさを伝える		
[スライド]	[説明概要]	[秒]
①タイトル：これがK中の行事		5
体育会の応援の 写真	・あいさつ 「これから行事を紹介します。」	
②タイトル：1年間でこんなに行事が		5
年間の行事の 写真	・行事の紹介 「体育会だけでなく、こんなに いろいろな行事があります。」	
③タイトル：体育会の感動を		38
体育会の場面	・体育会ではみんなが感動 ・生徒の感想を朗読「私は…」 「全学年みんなで話し合っ て、生徒が作り上げていくので、 気持ちが一つになる。」	
④タイトル：体育会の感動までの軌跡		10
準備から反省 会までの日程	・体育会の日程 「まず、…」	
⑤タイトル：こんなK中へ		2
校門で写した みんなの写真	・呼びかけ 「…、ありがとうございました。」	

〈A班の話合いの様子〉

松本さん (司会) 「それでは、この案をさらに改善していききたいと思いま
す。改善の意見を出してください。」

佐藤さん 「K中のよさを知ってもらうのだから、いろいろなよさ
を知ってもらうためにも、②のいろいろな行事のところ
に時間をかけて、たくさん写真を見てもらった方がいい
と思います。」

田中さん 「僕は佐藤さんの考えと違って、このままでいいと思いま

福田さん

田中さん

福田さん

松本さん

井上さん

松本さん

全員

(司会)

す。いろいろな行事の様子を中心に紹介するのもいい
と思うけど、時間が限られているのだから、行事は一つ
に絞って、その様子を詳しく伝えた方がいいと思います。
その方がきくと、行事のよさが伝わると思います。」

「一つの行事を中心に紹介するのは私も賛成です。でも、
体育会をクローズアップさせると、体育が好きなのはいい
けど、そうでない人にとっては、興味がわきにくいのは
ないですか。」

「体育会だけでなく、ほかにもいろいろな行事があるこ
とは②で知らせるのだから、問題はないと思います。と
ころで、福田さんは⑦。」

「私は小学校では行っていない、演劇鑑賞がいいと思
います。体育会や合唱コンクールは好き嫌いや得意不得意
があると思いますが、演劇鑑賞であればそのようなもの
が比較的少ないと思います。」

「今のところ、均等にいろいろな行事を紹介するという
意見と、①」という意見が出ています。ほか
に意見がある人はいますか。」

「はい。K中は今年、市の花壇コンクールで優秀賞をも
りました。K中のよさを伝えるなら、花壇の写真も見
せた方がいいのではないですか。」

「ちょっと待ってください。今の井上さんの意見なん
ですが、⑧」という理由から、ここでは取り上げない
方がよいと考えますが、どうですか。」

「はい。」

問1

⑦で、田中さんは福田さんに対して、どんな質問をした
と考えられますか。「と」思っているのですか。」につながらるよう
に、その前の部分を十字以上、十五字以内で考えて書きなさい。

1 出題の趣旨

○ 手紙は、特定の相手に向けて自分の意思や用件などを伝える文章である。そのため、相手と目的に応じて適切な書式や文体を選び、必要な事柄や用件を簡潔に要領よく伝える文章を書く力を育てるのに適している。社会生活に必要な手紙は、一方的に用件を伝えるだけでは十分でない。相手にこちらの意思を的確に伝え、相手にその気になってもらい、行動を起こしてもらうことが必要である。そのための言葉選びや構成、相手の心情を考えての文章など工夫すべきことがある。そういう技能を定着させるために、この問題を出題した。

2 正答について

問1

○ 正答 (例) 初めて手紙を書く相手に、まずは、自分の氏名を正確に名のりこ

問2

○ 正答 (例) 「お父さん」は尊敬語であり、自分や自分の側に対して尊敬語を使うことはふさわしくないから。

問3

○ 正答 (例) 「ぜひ」を使うと、一方的に強く相手に求めることになる。「なにとぞ」なら、相手が決める余裕を持たせることになるから。(五十七字)

問4

○ 正答 (例) 「ぜひ」を使うと、一方的に強く相手に求めることになる。「なにとぞ」なら、相手が決める余裕を持たせることになるから。(五十七字)

解説

「ぜひ」とは、自分の強い希望を最優先している言葉であり、「なにとぞ」は、依頼の気持ちが強感じられる言葉である。と書いていけば、おおむね満足の状態とする。「ぜひ」は強制されている感じがし、「なにとぞ」は頭を下けてもらっている感じがする、というように、相手にとっての感じ方までふれていると十分満足の状態とする。この問題を通して、相手にとっての語感を大切にし、類義語を使い分けの意識をもたせたい。(第2学年 言葉の特徴や使い方に關する事項)

問5

○ 正答 (例) わたしは、この部分が必要だと判断した。この部分は、依頼した理由が詳しく書かれてある。読み手にとって、それによって、依頼する中学生の思いが十分に伝わってきて、どうにか協力しようという気持ちになるからである。(百字)

問6

○ 正答 (例) この部分はないからである。このことは、読み手にとって必要ではない。依頼状は、相手が何を依頼されたのかすっきり分かることが大切だからである。(九十九字)

問7

○ 正答 (例) この部分はないからである。このことは、読み手にとって必要ではない。依頼状は、相手が何を依頼されたのかすっきり分かることが大切だからである。(九十九字)

問8

○ 正答 (例) この部分はないからである。このことは、読み手にとって必要ではない。依頼状は、相手が何を依頼されたのかすっきり分かることが大切だからである。(九十九字)

2

1 出題の趣旨

○ 実際の社会生活では、目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力や広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けることが求められる。そのため、文章中から何を選択して、どう活用するのかという意識をもちながら、本や文章などを読むことができるようにする必要がある。また、相手に配慮して分かりやすく書くために、資料の選択や引用の仕方、構成や表現を工夫して書く能力を身に付けることも求められる。この教材では、目的や相手、意図に応じてこの二つの能力を育てるために出題した。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) A市に到着後、野球場まで行程が分かるようにするため。

○ 解説

A市に住む哲也君がB市に住む正晴君へ野球観戦の「お誘いの手紙」を送っている。そこで、哲也君は野球場のあるA市に初めて来る正晴君のために、あらゆる情報を伝えている。しかし、「お誘いの手紙」だけでは、A市に到着後、待ち合わせ場所の野球場までの行程を考える情報が必要となる。そのことを理解した正答であれば、十分満足の状態とする。(第2学年 読むことイ)

問2

○ 正答

ア十二時二十分 イ高速バス ウTバスターミナル

○ 解説

哲也君の手紙にはB市からA市までの移動手段に関する情報として、特急電車と高速バスの出発時刻、所要時間、到着場所、運賃に関する情報が示されている。地図にはA市での到着場所と野球場までの位置関係や距離といった情報を読み取ることができ、それらの情報と示された条件とを照らし合わせた結果として、最も適切である出発時刻、交通手段、到着場所を正答で示す。(第2学年 読むこと オ)

3

○ 正答

(例) 哲也君に不愉快な思いをさせないため。(十八字)

○ 解説

「できるだけ少ない費用で行こうと考えて」と書いた場合、誘ってくれた哲也君の好意を損なうことになる。読み手の立場に応じた表現ではそのような配慮が必要である。そのことを明らかにした正答であれば、十分満足の状態とする。(第2学年 読むこと オ)

問4

○ 正答

(例) もしも、間に合いそうにないときは、携帯電話に連絡します。(二十八字)

○ 解説

もし遅れた場合、誘ってくれた哲也君が心配する可能性がある。そのことをあらかじめ想定し、「もしも」時には、「くれませんか」という丁寧な依頼を行うことが、相手に対する配慮にもなる。したがって、このことを明らかにする言葉を抜き出していれば、十分満足の状態とする。(第2学年 読むこと オ)

問5

○ 正答

(例) 自分が大切にされているようで、うれしい気分になる。(二十五字)

○ 解説

「以前から野球観戦をしたかったので楽しみです」と書いた場合、誘ってくれた哲也君に対する敬意が見られない。しかし、「哲也君と会えるのが楽しみです」と書くことによって、哲也君への敬意を示すとともに、野球観戦も楽しみであることを伝えることができる。つまり、哲也君にとっても正晴君を誘ってよかったという気持ちになる。そのことを明らかにした正答であれば、十分満足の状態とする。

手紙を書く際には、伝える相手の立場や気持ちに配慮するとともに、伝えたい内容の中心を明確にし、言葉を選び、気持ちを込めて書くことが大切である。このように、手紙にはあらゆる要素があることを読み取らせることを意図した問である。(第2学年 読むこと オ)

1 出題の趣旨

○ 話し合いは、自分の考えをまとめたり広げたりすることができるように、互いの考えを活かし合うことで、さまざまな課題を解決することができるという、実生活において非常に有効な言語活動である。そのため、互いの発言を検討して、共通点や相違点を聞き分けたり、話題になっていく物事について別の立場や視点から考えて自分の考えを広げたりできるように、効果的な話し方や聞き方、話し合い方を身に付けることが重要である。しかし、実際には、協議や討議などのねらいがあいまいであったり、単なる情報交換で終わったり、他の発言者の内容の言いかえで終わったりと、課題は多い。そこで、身近な話し合いの場面を設定し、それらについての知識や技能を身に付けさせるために出題した。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) どんな行事を中心にしたらよい(と思っているのですか)。

○ 解説

「中心に紹介するものは何か」の意見を問うているものであれば十分満足な状態とする。

話し合いでは、その目的と方向をつかみ、発言者と自分の考えの共通点や相違点などを整理することが大切である。学校生活の中で話し合いの場を設定する際には、さまざまな発言を整理させ、次の自分に必要な発言を考えさせたい。(第1学年 話すこと・聞くこと エ)

問2

○ 正答

(例) 一つの行事を中心に紹介する(十三字)

○ 解説

「一つの行事を中心に紹介する」という内容であれば十分満足な状態とする。

この問題では、話し合いの展開に注意して聞き、発言者の意見をまとめる力を問うている。他の発言者がどのような発言をしたか、十分考えた上で発言することが、話し合いを効果的にするということに気付かせたい。(第2学年 話すこと・聞くこと エ)

問3

○ 正答

ウ

○ 解説

この問題では、話し合いの目的を踏まえ、発言者の発言内容に注意しながら聞き、話し合いを進めようとする司会者の役割について問うている。司会者には、単に順番に発言者を指名する係ではなく、重要な役割があることに気付かせたい。(第2学年 話すこと・聞くこと オ)

問4

○ 正答

(例) ここでは取り上げないこととします。

○ 解説

話題がそれそうになったとき、司会として元に戻す言葉が明確に書かれていれば、十分満足な状態とする。

相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げる力を問うている。(第2学年 話すこと・聞くこと オ)

問5

○ 正答

(例) ①④③は体育会についてのスライドなので、間に②が入るより、三つを続けた方が話のまとまりがあるから。(四十九字)

○ 解説

②と④を入れ替えることのよさが書かれていれば、おおむね満足とする。自分の意見を述べる際には、話し合いの流れを踏まえた発言が重要である。ここでは、それに加えて、プレゼン全体の構成を考えた上で、そのよさと理由が書かれていれば、十分満足な状態とする。

ここでは、②のスライドが、いろいろな行事の紹介。④のスライドが、中心に紹介する体育会の日程。改善案としては、体育会に関係するスライドをまとめて紹介する方法や、体育会の様子を分かりやすく紹介する方法などが考えられる。この問題を通して、異なる立場や考えを想定して、目的や場面に応じた効果的な話し合いを行う能力を身に付けさせたい。(第2学年 話すこと・聞くこと ア)

1 出題の趣旨

○ 詩は文章の中でも特に言葉の使い方が洗練されている。従って、文章の展開や表現の仕方について、分析し、吟味し、検討することを通して、自分の考えを形成しやすい。だから、この詩を取り上げ、表現の仕方等に表れている書き手の思いや価値観について自分の考えをまとめ、書き表す力を育てるために出題した。

2 正答について

問1

○ 正答

「A」には「しかし」が当てはまり、「B」には「そして」が当てはまる。そのわけは、次のとおりである

(例)「A」の後に「又立って」「席を」「そのとしよりにゆずった」と三行にわたって、「娘」の行動が書いてある。もしも、ゆずろうと思っていれば、「又立って席をそのとしよりにゆずった」と一行で書いてすぐ行動に移るように書いてあるはずだ。三行に分けて書いてあるということは、その分、時間がかかっている、本当はゆずりたくないという思いがあり、それとたたかって、かろうじて勝って席をゆずっているという、ためらう気持ちが伝わってくる。だから、ここは、「娘」の気持ちと行動が予想通りではないということ伝えるために、「しかし」が適切だと判断できるからである。「B」は、「娘」の気持ちと行動が予想通りなので、「そして」がよい。

○ 解説

「しかし」を選択した理由については、「娘」が席をゆずることに迷いを感じていることと席をゆずったことが予想通りではない、ということを通じていれればおおむね満足の状態とする。理由を述べるにあたり、詩の語句、表現の仕方を例としてあげて、その解釈を書いて判断の根拠としていれれば、十分満足の状態とする。人物の心情を把握し、それに即して語句の意味を的確にとらえ、全体における語句の役割を考える習慣を付けさせたい。(第2学年 読むこと 工)。

問2

○ 正答

(例)①は、「この駅まで」耐えて行っただろうか、と気にしている表現である。②は、「ゆける」という可能を意味する語句と「だろう」という未来を表す語句を使っていることから、電車を降りた後も優しい心で自分を責めて生きてゆけるのかと心配していると同時に、耐えてほしいと願っている表現である。(二三九字)

○ 解説

「ゆけるだろう」を現実の、実際の駅のことを言っているのではない、ということを書いていれば、おおむね満足の状態とする。「ゆける」が可能の意味を持っているということを書いていれば、十分満足の状態とする。

この問題を通して、似ている表現だが、違うことを表現しているという表現の仕方について、分析でき、自分の考えを表現できる力を身に付けさせたい。(第2学年 読むこと 才)

問3

○ 正答

この詩の作者は、右の資料【1】の作者である。そう判断した理由は次のとおりである。

(例)この詩には、「娘」を優しく見つめている「僕」が書かれている。そういうところから、資料1の「他人を見る目は深く優しい」という特徴と似ているので選んだ。資料2の作者は、均整のとれた形式が特徴だというのが、それと合わない。また、資料3の作者は、巧みな比喩表現が特徴だというのが、それとも合わない。従って、資料1の作者がこの詩の作者だと判断する。

○ 解説

詩の言葉や人物のものの見方や考え方と各「資料」に書かれている「特徴」とを照合して判断していれば、おおむね満足の状態とする。正答としている資料以外の資料に書かれている「特徴」がなぜ、この詩の特徴とそぐわないのか、について書いていると十分満足の状態とする。

詩の特徴をつかみ、「資料」の解説文と照合し、適切に判断する力は、複数の資料を読み比べる能力を育てる上でも価値がある。この問題では、そのような力を身に付けさせたい。(第2学年 読むこと 才)

《出典》『詩集 幻・方法』1959年 飯塚書店 所収

第二学年【めあて】目的に応じて自分の考えをまとめる。

() 組 () 番 名前 ()

1 高橋さんは、次のポスターについての鑑賞文を書きましたが、最後の部分がうまくまとまりませんでした。このポスターから分かる読書の効果について、「ということを見る人に伝えようとしているのだと感じた。」の文末に続くように、**A**の部分に、二十五字以上、三十字以内でああなたの考えを書きなさい。



このポスターを見ると次のことがわかる。
 一つは、見出しとして大きく書かれている文字から、四月二十三日が「子ども読書の日」であるということ。
 もう一つは、親子で読書している場面の絵から、親子読書を推進しているということである。
 さらに、親子の上の部分に描かれている絵から、読書をすれば、いろいろな知識や考え方を身に付けることができるということである。
 わたしがこのポスターを見て一番おもしろいと感じたのは、親子の上の部分である。生き物や宇宙、音楽などたくさん描かれているが、何が描かれているのか明確でないものもある。このことは、読書が、単に知りたいことを教えてくれるものにとどまらず、**A**ということを見る人に伝えようとしているのだと感じた。

30	ということを見る人に伝えようとしているのだと感じた
25	

第二学年【めあて】目的に沿って話し合う。

③ 先日の「職場体験学習」では、体験先の方にたいへんお世話になりました。そこで、感謝の気持ちを込めて、「地域貢献活動」を行うことになり、学級委員の山田さんが提案することになりました。

※生徒名のあとの数字は、発言回数を示す。

河原1 今日、先週の学年学級委員会で話題になった「地域貢献活動をしよう」ということについて話し合います。提案を山田さんお願いします。

山田1 はい。学年学級委員会では、職場体験学習を行った時に、体験先の方にたいへんお世話になったので、その感謝の気持ちを込めて、「地域貢献活動をしよう」ということになりました。学年学級委員会では、「全学級で清掃活動をしてはどうか」という意見になりました。

そこで、皆さんに、「地域貢献活動として全学級で清掃活動をする」ことを提案します。

まず、今の提案についての質問から聞きたいと思います。質問はありませんか。

山田2 私たちが、地域貢献活動をやっているということは、人のために働くということが大切だとわかっているということ、それを証明することになるからです。そのように働く大切さを知ったということを具体的な行動で示すことが、感謝の気持ちを伝えることだと考えるからです。

河原3 どうですか、平田君。

平田2 理由はわかりました。しかし、そういうことなら地域貢献

()組 ()番 名前 ()

河原4

活動でなくてもいいのではないかと考えます。

問1 平田君はどんな質問をしたと考えられますか。「平田1」での質問の内容を書きなさい。

問2 平田君は、「そういうことなら地域貢献活動でなくてもいいのではないかと考えます」と発言しています。司会の河原君は、この後、どのように進行するとよいですか。「河原4」での発言の内容とその理由を書きなさい。

発言	理由

第二学年【めあて】目的や必要に応じて文章をまとめる。

7 武田さんは、エコカーについて次のように文章をまとめました。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

- 1 エコカーとは、窒素酸化物や粒子状物質等の大気汚染物質の排出が少なく、あるいは全く排出しない、かつ燃費性能が優れている自動車です。
- 2 エコカーとしてよく知られているのが、ハイブリット自動車です。通常の走行時はガソリン自動車と同じですが、減速する時のエネルギーを電気や圧力エネルギーに変えて走行するものです。そのことで、発進や加速、登板時の窒素酸化物や二酸化炭素、黒煙等が減少し、燃費も向上します。
- 3 また、現在広く普及しているのが、低燃費かつ低排出ガス認定車です。この車は、従来の自動車と同じガソリンを燃料としていますが、排気ガス中の窒素酸化物や二酸化炭素などを削減し、国土交通省の一定の排出基準と燃費基準を満たしています。
- 4 電気自動車はバッテリー（蓄電池）に蓄えた電気でモーターを回転させて走る自動車です。このため、排出ガスが一切なく、走行騒音も大幅に減少します。ところが、その電気は発電所で作られた電気を使います。発電所で発電する際にも排出ガスが出ますが、それを考慮しても、窒素酸化物や二酸化炭素は通常の自動車より大幅に少なくなります。
- 5 天然ガス自動車は、家庭に供給されている都市ガスの原料でもある天然ガスを燃料として走る自動車です。天然ガスは、硫黄分などの不純物を含まないクリーンなエネルギーのため、排出ガスの浄化が容易で黒煙も出ません。さらに、窒素酸化物も大幅に少なく、二酸化炭素排出量もガソリン車に比べ2〜3割少なくなります。
- 6 最後に、今後期待されるのが直接水素と空気中の酸素を反応させて、燃料電池で発電した電気でモーターを回転させ

() 組 () 番 名前 ()

て走る燃料電池自動車です。水素と酸素との化学反応によって燃料電池から発生するのは水だけです。現状では開発コストが高く、自動車メーカー・エネルギー事業者からは二〇一五年から市場に本格導入するとの共同声明が出されています。これらの普及にはまだ時間がかかりそうです。

7 科学技術の向上により、やがて経済的にも環境的にも優れた自動車ができるでしょう。

問1 5段落にある、クリーンなエネルギーとはどういうエネルギーのことですか。二十字以内で書きなさい。

問2 この文章の中で、エコカーとして紹介されている車の種類をすべて書きなさい。

問3 走行時に、窒素酸化物や二酸化炭素を排出していない車があると書かれています。しかし、その車も、結果的には、少ないながらも窒素酸化物や二酸化炭素を排出していることになる、と書かれています。それはなぜか、書きなさい。

【解答例】

1 読む人の想像をはるかに超える、たくさんのことを学べるもの（二十八字）

【解答例】

2 文章Aは、最後に自分の考えを書いているが、文章Bは、始めと終わりに自分の考えを書いている。（四十五字）

【解答例】

3 問1 なぜ、地域貢献活動をやることが感謝の気持ちを伝えることになるのですか。

問2

【発言】「今の発言は意見ですね。意見は後で言ってください。」
【理由】なぜなら、今は、質問を聞いている時間だから、質問だけを受け付けるように進行すべきだからである。

【解答例】

4 問1 「行ける」は断定している。「行けると思う」は断定していない。（三十字）

問2 「行きたいけれど、行けないかもしれない。だから、行けないときは連絡をする。」と言えはよかった。

問3 「行けない」可能性はどのくらいあるのか、を聞くといよい。また、「行けなくなった」ときは、いつまでに連絡するといよいかを伝えるといよい。

問4 自分の考えと、相手の考えが同じであることはない。だから、相手に正確に伝わるように適切な言葉を使ったり、正確に伝わっているか確かめたりすることが大切である。（七十六字）

《出典》『コミュニケーションの日本語』（森山卓郎著 2004年 岩波書店）より》

【解答例】

5 問1 やじるし

問2 「やっと」を使うと、「やじるし」に、ずっとなりたがっていたように思える。「どうとう」は、願っていなかったのに、そうなったという残念な気持ちが伝わる。（七十四字）

問3 「あちらですか」の方が、海の位置が分かっている、既に海に帰ろうとしている感じがする。（四十二字）

問4 「ちきゅう」も「うちゅう」も、生き物にとってかけがえないものであることに気付かされ、大切にしようといよいう気持ちになる。

《出典》『まど・みちお少年詩集 まめつぶうた』（1997年 新装版 理論社）

【解答例】

6

問1 Aは、(肝を冷やす)であり

Bは、(油を売る)である。

問2 Aは、「肝」が氷を入れた袋で冷やされているので、「肝を冷やす」だと判断した。Bは、「油」のつくりの部分に金額を示す「¥」マークがあるので、売買に関係する意味を表していると考えられる。そこで、「油を売る」だと判断した。(一〇八字)

※ Aは、「肝」という漢字が氷で冷やされていることから、Bは、お金(¥)に関係していることから、慣用句を考えていけばおおむね満足の状態とする。

《出典 「文字遊び百科①漢字パズル(へ上)」(馬場雄二著

昭和59年 東京堂出版)より》

【解答例】

7

問1 硫黄分などの不純物を含まないエネルギー

問2 ハイブリット自動車、低燃費かつ低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車、燃料電池自動車

問3 電気自動車で使う電気は、発電所で窒素酸化物や二酸化炭素を排出するため。(二十六字)

【解答例】

8

反対意見：古典苦手だという人は多いと思います。自分一人だ

けで古典の文章を読んでも、古典のよさを感じることはなかなかできないのではないですか。(六十七字)

回 答：原文を読まなくてはいけけないわけではありません。現代語に訳された作品でもよいと考えています。(四十五字)



福岡県教育委員会